

会 議 録

会議名	第1回福山市長期総合計画策定審議会
日 時	2006年（平成18年）6月27日（火） 19時00分～20時45分
場 所	福山市役所6階60会議室
出席者	「出席者名簿」のとおり
欠席者	杉原委員，眞田委員

発 言 者	議 題 ・ 発言内容
○事務局(森島部長)	<p>失礼いたします。定刻の7時を少し回ったところでまことに恐縮でございます。それでは、ただいまから第1回福山市長期総合計画審議会を開会させていただきます。</p> <p>私は、当審議会の事務局を担当させていただきます企画総務局企画部長の森島でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>議事に入りますまで事務局の方で進行させていただきたいと思ひます。</p> <p>なお、福山市では夏季におきます省エネルギーの推進のために軽装での執務に取り組んでおりますので、ご了承のほどよろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>また、開催に当たりましては、事前に皆様の日程のご都合をお聞きした上で、全員のご出席をいただけるよう日程を調整いたしましたところでございますが、その後のご都合等によりまして委員の皆様全員の出席ということには至りませんでした。また、開会時間につきましても、午後7時からとなりましたということで、ご了承のほどよろしくお願ひを申し上げたいと思ひます。</p> <p>それでは、お手元にお配りいたしております次第の流れに沿いまして進めさせていただきますと存じます。</p> <p>まず、委嘱状の交付でございます。</p> <p>委嘱状につきましては、委員の皆様方お1人お1人に市長からお渡しをして、お願ひいたしますのが本意ではございますが、あらかじめ皆様方のお手元にお配りをいたしました。これにより委嘱状の交付にかえさせていただきますと存じますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、羽田市長からごあいさつを申し上げます。</p>
○羽田市長	<p>市長の羽田でございます。第1回福山市長期総合計画審議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。</p>

	<p>皆様方には、福山市長期総合計画審議会の委員にご就任をいただきまして、また、本日大変ご多用の中をご出席いただきまして、まことにありがとうございます。</p> <p>平素から市政推進のため、ご理解とご協力を賜りまして、改めてこの場をおかりいたしまして厚く御礼を申し上げます。</p> <p>さて、本市では、2007年度（平成19年度）を初年度とする第四次総合計画を今年度中に策定してまいりたいと考えております。</p> <p>長期総合計画は、今後の10年間の目指すべき都市像やまちづくりの基本方向を示し、その実現のための施策の大綱を明らかにし、本市の市制100周年に向けた新しいまちづくりの指針といたすものであります。</p> <p>このたび、市民の皆様のご意見を広くお聞きするため、各界各層を代表されました委員の皆様と公募によります委員の方とで、この審議会を設置させていただきました。</p> <p>今後、新総合計画のもとで、本格的な地方分権の時代を迎え、大きく変化する社会経済情勢を見きわめ、行政はもとより市民の皆様とともに知恵を出し合う中で、「ふるさと福山」を全国に誇れる「ナンバーワンのまち」、「だれもが住んでみたい、行ってみたいと思えるまち」の実現に邁進してまいりたいと考えております。</p> <p>第四次総合計画基本構想のご審議に当たりまして、委員の皆様方には、本市が将来にわたって活力あるまちとして発展してまいりますよう、活発なご意見をいただきたいと存じますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>簡単でございますが、第1回福山市長期総合計画審議会の開会に当たりましてのごあいさつとさせていただきます。</p> <p>どうかよろしく願いいたします。</p>
○事務局（森島部長）	<p>続きまして、審議会委員及び事務局のご紹介をさせていただきます。</p> <p>お手元の資料1でございますが、1ページに名簿を掲載いたしておりますので、ごらんをください。</p> <p>本日付けで委嘱を申し上げました審議会委員の方々のお名前を読み上げる形でご紹介をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>まず、福山市連合民生・児童委員協議会副会長の相川博美委員でございます。</p>
○相川委員	<p>よろしく願いします。</p>
○事務局（森島部長）	<p>福山市教育委員会委員長の伊藤泰昭委員でございます。</p>
○伊藤委員	<p>伊藤でございます。</p>
○事務局（森島部長）	<p>福山市女性連絡協議会会長の井上タカ子委員でございます。</p>
○井上タカ子委員	<p>井上でございます。よろしく願いします。</p>
○事務局（森島部	<p>福山大学工学部教授の井上矩之委員でございます。</p>

長)	
○井上矩之委員	よろしく申し上げます。
○事務局(森島部長)	福山商工会議所副会頭の占部誠委員でございます。
○占部委員	占部でございます。よろしく申し上げます。
○事務局(森島部長)	福山市農業委員会会長の大元活男委員でございます。
○大元委員	大元でございます。よろしく申し上げます。
○事務局(森島部長)	福山市PTA連合会事務局次長の蔵田郁子委員でございます。
○蔵田委員	蔵田でございます。よろしく願いいたします。
○事務局(森島部長)	福山文化連盟副会長の常盤初江委員でございます。
○常盤委員	常盤でございます。よろしく申し上げます。
○事務局(森島部長)	公募委員の永久洋子委員でございます。
○永久委員	よろしく申し上げます。
○事務局(森島部長)	福山平成大学福祉健康学部教授の藤井悟委員でございます。
○藤井委員	よろしく申し上げます。
○事務局(森島部長)	連合広島福山地域協議会事務局長の藤本和士委員でございます。
○藤本委員	藤本でございます。よろしく願いいたします。
○事務局(森島部長)	社団法人福山市医師会会長の細木宣男委員でございます。
○細木委員	よろしく申し上げます。
○事務局(森島部長)	広島経済同友会福山支部副支部長の松本茂太郎委員でございます。
○松本委員	松本でございます。よろしく願いいたします。

○事務局(森島部長)	社団法人福山市観光協会副会長の丸山万里子委員でございます。
○丸山委員	よろしくお願ひいたします。
○事務局(森島部長)	公募委員の三上貴久美委員でございます。
○三上委員	三上でございます。よろしくお願ひいたします。
○事務局(森島部長)	福山市自治会連合会会長の門田勤委員でございます。
○門田委員	門田でございます。
○事務局(森島部長)	福山市立女子短期大学学長の安川悦子委員でございます。
○安川委員	よろしくお願ひいたします。
○事務局(森島部長)	財団法人福山市体育協会常任理事の山口正司委員でございます。
○山口委員	山口です。よろしくお願ひします。
○事務局(森島部長)	なお、社団法人福山青年会議所理事長の眞田奈津基委員及び社会福祉法人福山市社会福祉協議会会長の杉原潔委員から本日欠席とのご連絡をいただいております。 続きまして、事務局をご紹介申し上げます。 企画総務局長の赤澤でございます。
○赤澤企画総務局長	赤澤です。よろしくお願ひします。
○事務局(森島部長)	企画総務局企画部企画課長の藤井でございます。
○藤井企画課長	藤井でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。
○事務局(森島部長)	企画総務局企画部企画課課長補佐の檀上でございます。
○檀上企画課長補佐	檀上でございます。よろしくお願ひいたします。
○事務局(森島部長)	企画総務局企画部企画課計画担当次長の浦部でございます。

○浦部企画課計画担当次長	浦部でございます。よろしく申し上げます。
○事務局(森島部長)	<p>以上で紹介を終わらせていただきます。 続きまして、会長、副会長の選任についてでございます。 福山市長期総合計画審議会条例第4条の規定によりまして、会長、副会長各1人を置き、委員の互選により定めとなっております。 ご意見等があれば、お願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。</p>
○藤井委員	事務局の方に案があればご提示いただきたいと思います。
○門田委員	メンバーだけでいたしますと、会長さんには福山大学の井上教授様、それから副会長さんには平成大学の藤井教授様、2人をご推薦いたしますので、お諮り願えますか。
○事務局(森島部長)	失礼いたします。門田委員の方のご発言でございますが、会長に福山大学の井上教授、それから副会長に福山平成大学の藤井教授というご発言ということでございますか。
○門田委員	そうです。
○事務局(森島部長)	<p>というご発言というかご意見がございましたが、皆様方、いかがでございましょう。</p> <p style="text-align: center;">(「異議なし」の声あり)</p>
○事務局(森島部長)	よろしいでしょうか。いかがでございましょう。
○山口委員	素案というのはないのですか。
○事務局(森島部長)	<p>会長、副会長の選任につきましては、委員の皆様の互選ということになっておりますので、今の委員の方のご発言でいかがでございましょうか。</p> <p style="text-align: center;">(「異議なし」の声あり)</p>
○事務局(森島部長)	ご異議がなければそのような取り計らいをさせていただきたいと存じます。
○一同	(拍手)
○事務局(森島部長)	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいま、当審議会の会長に福山大学工学部教授の井上矩之委員、それから副会長に福山平成大学福祉健康学部教授の藤井悟委員ということで決まりましたので、どうぞよろしくお願いをいたします。</p> <p>それでは、会長さんと副会長さんに、お席の方をご移動をお願いできれば</p>

	<p>ばと存じます。よろしくお願いいたします。</p> <p>(会長, 副会長, 席を移動する)</p>
○事務局(森島部長)	失礼いたします。それでは、お席の方へお着きいただきました。それで、会長さん、副会長さんにおかれましては、突然で恐縮でございますが、一言ずつごあいさつをちょうだいできればと思いますが、申しわけございません。会長さんの方からよろしくお願いいたします。
○井上会長	皆さんこんにちは、初めまして。全く私、想定してなかったといいますが、今までいろんな市の審議会に委員長とかやらせていただいていますけれども、いつも事前に話なりあるんですが、今回は全くというか、全く思ってもみなかったということでもないんですけども、10年前に前回の長期総合計画をつくったときに会長をやらせてもらいました。あのときはまだ若くてパワーがあったのですが、ちょっと年を取ってきまして、少し元気がなくなってるので、皆様方、どうかエネルギーの方をですね、いろいろ意見を賜りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。(拍手)
○藤井副会長	福山平成大学の藤井と申します。事務局案を聞いた私がまさかここに座ろうとは、そういう案ではなかったと思うんですが、できれば大学の教員と、どなたか他の団体の方がいいんじゃないかというふうな気持ちがあったんですけど、議事を混乱させてはいけないので、素直に従うことにいたしました。私は、井上会長を補佐する立場ですが、一生懸命協力して議事の進行に努めたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。(拍手)
○事務局(森島部長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、続きまして、福山市長期総合計画(第四次福山市総合計画)でございますが、基本構想に関しご審議をいただくため、市長より会長に諮問をさせていただきたいと存じます。</p>
○羽田市長	<p>福山市長期総合計画審議会会長 井上矩之様、福山市長 羽田皓、第四次福山市総合計画基本構想について諮問。福山市長期総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、次のとおり諮問いたします。</p> <p>諮問事項 福山市長期総合計画(第四次福山市総合計画)基本構想について貴審議会の意見を求めます。よろしくお願いいたします。</p> <p>(羽田市長から井上会長に諮問書を渡す)</p>
○事務局(森島部長)	ありがとうございました。それでは、市長はここで退席をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
○羽田市長	どうかよろしくお願いいたします。
○事務局(森島部長)	<p>諮問書の写しをお配りをさせていただきたいと存じます。</p> <p>それでは、これからの議事につきましては、福山市長期総合計画審議会条例の規定によりまして、会長が議長となりますので、井上会長にはどうぞよろしくお願いいたします。</p>

<p>○井上会長</p>	<p>なお、議事進行の打ち合わせを井上会長、藤井副会長と若干時間をいただいで行わせていただきたいと思いますので、5分程度の休憩を挟ませていただければと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">(休 憩) (再 開)</p> <p>それでは、皆様お待たせいたしました。再開させていただきます。 条例の規定によりまして、会長の私が議長を務めさせていただきます。 よろしく申し上げます。</p> <p>まず、議事に入ります前に少しやっておきたいことがあります。審議会 は、住民への十分な情報提供を確保するということから、特に合理的な理 由のない限り原則として公開いたしたいと思います。それから、会議録も あわせて公開することにいたしたいと思います。今の点はよろしゅうござ いますでしょうか。</p>
<p>○一同</p>	<p style="text-align: center;">(「異議なし」の声あり)</p>
<p>○井上会長</p>	<p>はい。特に異議がないようですので、特別な理由のない限り公開と。そ れから、会議録も公開とさせていただきます。</p> <p>それからその次に、これは事務的なことで、会議録の作成上、発言され る場合は、このマイクのボタンを押して、赤いランプをつけて、それで発 言をお願いします。発言しないときは消しておいていただいた方がいいと 思います。</p> <p>それでは、今日ご案内のように1時間半ぐらいと、あと1時間少々とい うことで早速議事に入らせていただきます。</p> <p>議事に入ります前に、もう1つ、済みません、議事次第に書いてある議 事の前に、今後の審議方法についてお諮りいたします。事務局の方から案 を説明してください。</p>
<p>○事務局(藤井課 長)</p>	<p>失礼いたします。今回、第1回目ということで、配付させていただいて おります資料のご説明をさせていただきたいと思います。その後、意見、 質疑等もお願いしたいと思います。第2回については、できれば将来都市 像ぐらいまでをご審議いただいて、残りを第3回、第4回で審議の整理と 答申書案ということを考えております。</p> <p>審議会のスケジュールでございますが、資料の1の3ページにスケジ ュールを載せております。</p> <p>委員の皆様方には、本日、市長から諮問いたしました福山市長期総合計 画基本構想の素案について、ご審議をいただきまして、答申書を取りまと めていただきたいというふうに思います。</p> <p>それから、その答申を踏まえた基本構想を市議会の方に提案をさせてい ただき、議会でのご審議の後、議決をお願いするようになります。</p> <p>この審議会の開催回数のご予定でございますが、今後、数回程度開催をお 願いいたしまして、8月中には答申書を取りまとめていただきたいという ふうに考えております。</p> <p>何分、期間も限られておりまして、お忙しいとは存じますが、ご協力の ほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、4ページ、5ページにつきましては、第四次福山市総合計画策定</p>

	<p>の趣旨,あるいは視点といったようなことについて簡単にまとめております。ぜひともご一読をいただきたいというふうに思います。</p> <p>6ページにつきましては,総合計画の策定体制をフロー図にまとめたものでございます。</p> <p>7ページにつきましては,第一次から第三次までの総合計画,それから総合計画の前身であります福山市総合開発計画,これについて,その変遷とコンセプト,これをまとめたものでございます。</p> <p>以上でございます。どうぞよろしくお願いをいたします。</p>
○井上会長	<p>ご質問ございますか。</p> <p>藤井さん,審議会を数回程度と口頭でおっしゃったんですが,4回ということですか。</p>
○事務局(藤井課長)	<p>おおむね4回程度でございます。</p>
○井上会長	<p>4回。場合によっては増えるかもしれないということですね。皆さんいかがですか。ただいまの説明。</p>
○一同	<p>(「異議なし」の声あり)</p>
○井上会長	<p>それでは,いよいよ議事次第に書いてあります議事の方に入りたいと思います。</p> <p>(1)ですね,先ほど市長の方から,福山市長期総合計画(第四次福山市総合計画)基本構想について諮問がございました。それで,その素案ですね,事務局の方でつくっております素案について審議いたすわけでございますが,本日は,その中の計画策定のための基礎調査,事務局が行っております基礎調査の報告や基本構想の素案などについて説明を受けたいと思います。</p> <p>なお,本日は時間も限られて,簡単な質問,簡単なご意見ぐらいにとどめまして,次回からの審議会でご具体的なご意見やご議論をいただきたいと考えておりますので,よろしくお願いをいたします。</p> <p>それでは,事務局,お願いをいたします。</p>
○事務局(藤井課長)	<p>それでは,第四次福山市総合計画策定のための基礎調査について,ご説明を申し上げます。説明は,基礎調査報告書の概要版の方でさせていただきますと思います。本編は水色の冊子でございますが,こちらの方についてもご一読いただければというふうに思います。</p> <p>それでは,お配りしております「第四次福山市総合計画策定のための基礎調査報告書概要編」をごらんください。</p> <p>この基礎調査は,次期総合計画を策定するに当たりまして,福山市を取り巻く時代潮流や福山市の現状,とりわけ,他の中核市等との比較によりまして福山市の強みや弱みを明らかにするとともに,第三次総合計画期間中に実施した事業と市民意識調査の各施策に対する満足度・重要度,これを照合することなどによりまして,今後重要であると思われるまちづくりの視点を整理したものであります。なお,調査に当たりましては,合併した町のデータも加えて行っております。</p> <p>1ページをお願いいたします。「今後の時代潮流を踏まえた社会展望」</p>

といたしまして、今後のまちづくりを進めていく上で、念頭に置いておかなければならない社会経済情勢を「グローバル社会」、「ソフト重視の経済社会」、「雇用形態が多様化する社会」、「循環型社会」、「高度情報化社会」、「少子高齢化の進行と人口減少社会」、「安全・安心が重視される社会」、「地域経営が試される社会」「多様な主体と協働する社会」、この9つの視点で整理をしております。

これらの社会展望から見ました「今後のまちづくりの視点」として、図表1の中ほどに記載をいたしておりますが、1点目として「人権文化が根付いたまち」、2点目として「活力ある産業づくり」、3点目として「協働のまちづくりの推進」、4点目として「子育て・教育の一層の充実」、5点目として「循環型社会への対応」、6点目として「安全で安心して暮らせるまち」、7点目として「広域連携の推進」、8点目として「情報通信技術を活用したまちづくり」、9点目として「行財政改革の一層の推進」といった視点到留意して都市間競争に打ち勝つまちづくりが必要であることを明らかにいたしております。

2ページをお願いいたします。「広域的な視点から見た福山市の位置付け」でございます。図表2の中ほどでございますが、福山市の強みの1点目として「広域高速交通網による国内外への優れたアクセス利便性」、2点目といたしまして「重要な物流拠点としての福山港」、3点目として「多様な観光資源」、4点目として「県境を越えた近隣市町との連携による地域力の発揮」が挙げられます。一方、弱みでは、1点目として「中心市街地の空洞化」、2点目として「観光客の伸び悩み」が挙げられます。こういった強みを生かし、弱みを克服して、都市的魅力を向上させることが必要であることを明らかにいたしております。

3ページをお願いいたします。ここでは、人口・世帯、産業、福祉サービスなどの各側面から「福山市の社会経済状況の動向」を整理いたしております。図表3の中ほどでございますが、福山市の強みでは、1点目として「高い製造業の集積」、2点目として「大手メーカーやオンリーワン・ナンバーワンなどの特色ある企業の集積」、3点目として「充実した子育て支援環境」、4点目として「全国よりも高い年少人口割合」、5点目として「都市内分権の拠点となる1小学校区1公民館」などが挙げられます。こういった福山市の特徴を今後のまちづくりに大いに活用していく必要があります。一方、弱みでは、1点目として「人口増加の停滞による都市活力低下のおそれ」、2点目として「世帯当たり人員の減少や単独世帯の増加など、コミュニティ機能の低下のおそれ」、3点目として「事業所数、従業者数の減少」、4点目として「弱い卸売機能」、5点目として「厳しい財政状況」が挙げられます。これらに対処していくことが必要であることを明らかにいたしております。

4ページをお願いいたします。ここでは、人口などの将来フレームを整理いたしております。まず「人口」であります。総人口は、2003年（平成15年）の46万2,000人をピークに減少に転じまして、第四次総合計画の最終年度である2016年（平成28年）には45万2,000人になることが予測されます。年齢3区分別人口割合は、65歳以上の老年人口割合が上昇する一方で、15歳以下の年少人口割合が低下することが見込まれます。「世帯」につきましては、夫婦のみや単独世帯等の増加により微増すると見込まれますが、2015年（平成27年）の17万3,200世帯をピークに減少に転じまして、2016年（平成28年）には17万3,000世帯になると見込まれます。「就業人口」につきましては、総人口の減少に伴い、就業人

口そのものも 2016 年（平成 28 年）には 22 万 500 人に減少することが予測されます。産業別人口割合につきましては、第一次産業、第二次産業の割合が低下いたしまして、第三次産業の就業者の割合が上昇することが見込まれます。これらを踏まえた今後のまちづくりの視点として、図表 4 の下の部分でございますが、1 点目として「地域の担い手の育成・確保（協働のまちづくりの推進）」、2 点目として「活力ある産業づくり」、3 点目として「子育て支援の一層の充実」、4 点目として「安心して暮らせるまち」といった視点が重要であることを明らかにいたしております。

5 ページをお願いいたします。「市民の問題意識とニーズ」であります。次期福山市総合計画に係る市民アンケートにつきましては、昨年 1 月、沼隈町を含む福山市民を対象にアンケートを実施いたしました。神辺町との合併が議決されたことを受けまして、7 月には神辺町の住民に対する追加アンケートを実施したところでございます。

(1) の「福山市への定住意向」につきましては、これからも福山市に住み続けたいとするものが 8 割を超えておりまして、定住志向が強いことがあらわれております。

(2) の「まちづくりに対する関心や福山らしさ」ですが、①の「まちづくりに対する関心」につきましては、「関心がある」、「少し関心がある」を合わせると 8 割弱（77.3%）の市民が関心を持っております。

②の「福山らしさ」としては、「ばら・ばら祭り」が約 6 割と最も多く、市民の間でばらのイメージが着実に定着していることがうかがわれます。次が「鞆の浦・鯛網」、これが約 3 割、「福山城・城下町」が約 25%、「気候の良さ」が約 17%で続いております。

(3) の「これまでの 10 年間の政策体系別評価」につきましては、第三次総合計画の基本目標の施策体系ごとに、市民の満足度、以前より良くなったものでございます。それと重要度、今後重要なものでございますが、これについて集計した結果を示しています。例えば「心ふれあい健やかに安心して暮らせるまち」という基本目標の中の施策では、以前より良くなったものは、「高齢者のための施設整備やサービスの充実」、この割合が最も高く、今後重要なものとしたしましては、「医療機関の整備や保健・医療サービスの充実」の割合が高くなっております。具体的にはそれぞれ記載しているとおりでございます。

6 ページをお願いいたします。こういった満足度と重要度を、一つの表にしたものが 6 ページの②の「市民満足度と重要度から見た位置付け」の表となっております。これによりますと左上 A 欄でございますが、の例えば「雇用安定対策の充実」、「中心市街地の活性化」、「小学校・中学校・高等学校などの学校教育の充実」といったものが市民満足度が低く、重要度が高いという結果になっております。

③の「住みやすさに対する満足度」につきましては、「満足」と「やや満足」の合計が 44.5%で、「やや不満」と「不満」の合計 23.7%を約 20% 上回っております。

次の④の「今後の重点的な取組」についてでございますが、これは、次期総合計画におきまして、今後のまちづくりを行う上で、市民が考える福山市の将来像、それから何を重点的に取り組むべきかということについて、その意向を伺ったものでございます。

まず、「今後のまちづくりを行う上での将来像」につきましては、「安全・安心」のまちづくりを望む市民が約 4 割で一番多く、次いで「健康・福祉」が約 32%、「活力・にぎわい」が約 28%、「子育て・教育」が約 27%、

「自然・環境」が約22%と続いております。

次に「今後重点的に行うべき取組」といたしましては、「高齢者福祉の充実」が1位で38.9%、「学校教育の充実」が約33%で2位、以下、環境、保健・医療、雇用、防犯、子育て、防災、生活道路の整備などが20%を超えております。

7ページをお願いいたします。ここでは、「家庭の情報化と将来の不安」について尋ねております。

①の「家庭の情報化」では、家庭で利用している情報通信機器について、パソコンからインターネットに接続している家庭は5割弱（47.3%）、携帯電話からインターネットに接続している家庭も3割を超えておまして、家庭の情報化が進んでいる状況がうかがえます。

また、②の「将来の不安」につきましては、「とても不安」と「やや不安」を合わせますと約8割の市民が不安を感じておまして、不安の内容といたしましては、「年金などの社会保障制度」、これが1位で5割、次に「自分の健康や介護」、「家族の健康や介護」がそれぞれ3割を超えておまして、「家計や収入」、これが2割となっております。

(5)では「地域活動、市民と行政の役割分担」、まちづくりへの市民の参加でございますが、これについて尋ねております。

回答者の65%が何らかの地域活動に参加されておまして、その内容は「自治会・町内会活動」が約5割、続いて「同好会活動等」の約25%が多くなっております。

「今後参加したいまちづくり」では、「高齢者・障害者の福祉」が約28%で最も多く、次いで、「地域の安全や防災」「自然保護・環境問題」「スポーツ・レクリエーション」などが2割を超えております。

最後に(6)でございますが、「福山市が目指すべき将来像やまちづくりの在り方」について自由意見記入欄を設けておまして、記入していただいた結果の主なものを記載いたしております。

アンケート有効回収数1,511件のうち631件、率にして41.8%の市民の方が記入をされております。主なものといたしましては、「道路の整備」「学校教育の向上」「財政運営」「駅前整備・市街地整備」「防犯など安全なまちづくり」というふうになっております。

8ページ及び9ページでございますが、現在の総合計画の期間中に、実施計画に基づきまして実施した事業を市民アンケートの結果と照合することによりまして、第三次福山市総合計画の総括を行っております。

計画された事業については、おおむね達成されておまして、50万都市にふさわしい都市機能は着実に整いつつあることを確認するとともに、市民からの評価を踏まえ、今後も引き続き実施していくべき事業や施策の方向性を整理いたしております。

計画期間中に完了した主な事業といたしましては、「北部や東部の市民センターの建設」、「男女共同参画センターの整備」、「福山市民病院新館及び救命救急センターの整備」、「総合保健福祉センター（福山すこやかセンター）の建設」、「ごみ減量化施設（福山クリーンセンター）の整備」、「福山市ごみ固形燃料工場の建設」、「福山北産業団地の造成」、「ふくやま文学館の建設」、「緑町公園の整備や緑町公園屋内競技場（ローズアリーナ）」などが挙げられます。

一方、主な継続事業や今後見込まれる事業といたしましては、「（仮称）西部市民センターの建設」、「福山駅周辺地区整備」、「中央公園地区の整備」、「東桜町地区及び伏見町地区の市街地再開発事業」などが挙げられま

<p>○井上会長</p> <p>○山口委員</p>	<p>す。</p> <p>9 ページでございますが、こういった事業の進捗状況を踏まえた今後の留意すべき事項といたしまして、「中心市街地の活性化」、「周辺地区の拠点となる施設や機能の整備」、「雇用の安定や勤労者対策」、「公共交通対策」や「学校教育の充実」など市民満足度が低く重要度が高い事業を中心に、ハードとソフトを効果的に組み合わせて事業を実施していく必要があることを明らかにいたしております。</p> <p>また、市民との協働の視点や公共施設の延命化や統廃合の検討、合併建設計画に計上された事業の着実な実施などが求められることを明らかにいたしております。</p> <p>10 ページをお願いいたします。以上の基礎調査を踏まえまして、第四次福山市総合計画策定に向けた「まちづくりの視点」として、まとめたものが10ページから12ページにかけての基本的な課題(目指すべき方向性)であります。「人口減少時代の中、拠点性と求心力を備えたまちづくり」、「健康で生き生きと安心して暮らせるまちづくり」、この2点を念頭に置きまして、まちづくりの視点として、最初の丸でございますが、「個性を育む教育・文化のまち」、この項目では、充実した教育環境によるまちづくり、子供を健やかに育てられる環境づくり、人権文化が根付いたまちづくり、これを基本的な施策といたしまして、「環境と共生するまち」では、各主体に期待される役割を踏まえまして循環型社会への取組、地球にやさしい環境づくり、自然環境と共生するまちづくり、これを基本的な施策といたしまして、「だれもが安全で安心して暮らせるまち」では防犯対策の充実、総合的な防災対策の充実、高齢者福祉・障害者福祉の充実、保健・医療の充実、これを基本的な施策といたしまして、「活力とにぎわいのあるまち」では、中心市街地のにぎわいづくり、特色ある企業集積を活かした産業振興、福山らしさを活かした都市ブランドの創出と発信、広域的な連携と交流の促進、雇用の場の確保、これを基本的な施策といたしまして、「市民とともにつくるまち」では、協働によるまちづくりの推進、コミュニティ機能の強化、都市内分権の推進などを基本的な施策といたしております。</p> <p>以上の5つの視点とそれに基づく基本的施策が必要であることをここでは明らかにいたしております。</p> <p>12 ページにつきましては、以上説明してきましたことについて、第四次福山市総合計画策定に向けた「まちづくりの視点」を社会展望、福山市の特性、市民ニーズと第3次総合計画の総括、将来フレームといったところから基本的な課題(目標とすべき方向性)を導きまして、図にあらわしたものでございます。</p> <p>以上でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>はい。ただいま事務局の藤井さんの方から、福山市の現況、特性、それから将来の人口フレーム、それから市民アンケートの回答の分析、それから導き出すこと、活かせること、それから前回の長期総合計画の評価というか総括ですね。そういったことを踏まえて、最後に今回つくろうとしている長期総合計画のまちづくりの視点、大別5項目、こういう方向で行きたいという説明がございました。たった今、皆さんにお配りさせていただいたんですが、ご質問等ございましたらお願いいたします。</p> <p>ちょっといいですか。</p>
---------------------------	---

○井上会長	はい、どうぞ。
○山口委員	私、体育協会から来ておるわけでございますが、体育の振興というのは大変人間をはぐくむと思うんですけども、そのスポーツに対する評価がされてないのが非常に残念に思うわけでございますけども、金がかからずに健康をと、そういうようなということですね、もうちょっと体育に対するはかりをもっといただきたいというふうに思うのですが、よろしく願いいたします。
○井上会長	藤井さんの方、いかがですか。そこら辺は今のところ、現況もできていないということですか。
○事務局(藤井課長)	市民アンケートの関係で申しますと、7ページでございますが、これは地域活動の部分でございますけれども、この中では参加したいまちづくりの内容の中で、スポーツ、レクリエーション、これが21%ございますが、比較的多いという実態がございます。スポーツの振興についても、引き続き基本計画の中で施策体系の中に位置付けたい考えであります。
○井上会長	よろしゅうございますね。では、ほかに。はい。
○山口委員	それはアンケートを取った結果が21%と評価されておるんです。市民の皆さんが評価されておるのが、それがまた今後視点としてからどこへ上がってきておるんですか。これは市民の人のアンケートによるスポーツに対する評価だと思うんですけど、それをどう反映されたかというのはどこへ上がってますか。
○井上会長	それが10ページ以降のまちづくりの視点の中につながってるかどうかですね。
○事務局(藤井課長)	失礼します。10ページに今後のまちづくりの視点を整理いたしております。この中で、5つのまちづくりの視点と、それにぶら下がる基本的な施策というのを整理しておりますが、このそれぞれにさらに施策の体系がぶら下がっております。この中では、充実した教育環境によるまちづくりというのがございますが、この中の施策体系で位置付けて整理をしていくということになろうかと思えます。
○井上会長	では、そういうことで、次回以降ご指摘いただいたらと思います。ほかに質問。はい、どうぞ。
○細木委員	この評価の中で、その項目によってですね、例えばさっきの子育てのところで見ると、平均でいくと40.8%が重要なものと考えているということになってますけど、実際問題、例えば年のいった方で、もう子育てに関係ない人はあまり興味がないと思うんですね。となると、本当の重要度はその子育てをしてる年代層のパーセントで評価すべきじゃないでしょうか。全体の評価じゃなくてですね。 例えば、資料の方の92ページに書いてありますけど、年齢別に見た今後特に重要なものという中で、25から29、30代、いわゆる子育て世代で

○井上会長	<p>すね。ここは 62%の人が非常に重要だと考えてるんですね。それを平均的な 40.8%という評価だけでしていいのかどうか。全部なべた平均です。50代、60代になってくると子育てにそんなに興味がありませんから。</p> <p>そうですね。今はそういう数値をして、ちょっとそういう統計をしてないからちょっと答えられないけども、そういう視点は大事だと思います。そういうことに関係のある人をグループにしていくのか、全員が大事だと思ってるのかね。</p>
○事務局(藤井課長)	<p>失礼します。基礎調査報告書の本編の 92 ページでございますが、年齢別に見た今後特に重要なものの中で、25歳から30歳代、これが子育ての施設整備をさらに充実するというのが特に高くなっております。やはり年齢によってばらつきがあります。しかしながら、行政の施策というのは揺りかごから墓場までございます。したがって、その辺はバランスよく施策体系の中に位置付けていかなければならないんじゃないかというふうに思っております。</p>
○井上会長	<p>今の指摘事項に限らずに、いろんなところで、全体で割ってしまうと変なことになるからね。と思うんですね。交通事故なんかもね、自動車を持って人、持っていない人の、自動車を持っていない人の交通手段の問題とかね、それを全部で割ってしまうと少なくなってしまうんだけど、持っていない人にとったら非常に重要な問題であるかもしれないね。ちょっと今思いつくことで。</p> <p>それから、高齢者は子育てに関心がないというけども、孫のことではものすごく関心があるんですね。おじいさん、おばあさんになると孫と一緒に里帰りしてくれるとうれしくてしょうがない。それがこの設問と関係するかはわかりませんがね。いろいろ関心を持つてる人を分母にしてというか、関係のある人という、そういう見方も要るんじゃないかなというご指摘だと思うんですけどね。みんな全部、市民全体の 40 何万で割ってしまえば見えにくくなるんですね。</p> <p>ほかにございませんか。はい、どうぞ。</p>
○三上委員	<p>このアンケートなんですけれども、この冊子を全部読ませていただいたら書いてあるのかもしれないけれども、3,300人を選ばれてるということで、その3,300人の方というのは、男性、女性、それから世代別にある程度同じような人数で選ばれたんでしょうか。</p>
○事務局(藤井課長)	<p>これは住民基本台帳、これをコンピューターを無作為に回しまして、出す方はおおむね男女半々になるように抽出をいたしております。</p>
○三上委員	<p>世代は、年齢。</p>
○事務局(藤井課長)	<p>世代は、これはそういうあれじゃないです。ただし、3,300のサンプルがありますから、おおむね自然体の年齢構成とほぼ同じような年齢構成に結果としてなります。ただし、返ってくるのは若い世代の方がちょっと、結果を見ると少ないんじゃないかというふうに思います。</p>

○井上会長	<p>ちょっと済みません、議長から。会議録をつくるとおっしゃいましたですね。発言される委員さん、名前を言わなくてもよろしいんですか。わかりますか。</p>
○事務局(藤井課長)	<p>できれば。</p>
○井上会長	<p>済みません。そういうふうにお願いします。今のはそういうお答えでよろしいですか。</p> <p>それでは、ほかにももう少し議題がありますので、もう1つの方が重要ですね。この議題はちょっとこのぐらいにさせていただいて、時間の関係で、2つ目の議題に、先に移らしていただきたいと思います。</p> <p>それでは、議事次第の2番目ですね。基本構想の素案について、素案の説明、事務局お願いします。座ったままでよろしかったら、どうぞ。</p>
○事務局(藤井課長)	<p>それでは、失礼いたします。それでは、第四次福山市総合計画基本構想素案について、ご説明を申し上げます。</p> <p>このたび、ご審議いただきます「基本構想」は、10年後を目途といたしました本市の目指すべきまちづくりの基本理念と将来都市像を示すとともに、これを達成するための施策の大綱を明らかにいたしまして、総合的かつ計画的な行政運営の指針となるものでございます。素案につきましては、先ほどの市民アンケート調査、あるいは基礎調査の結果、さらにはパブリックコメントを実施しておりまして、その意見を踏まえて作成をいたしましたものでございます。パブリックコメントの結果につきましては、別冊で結果を取りまとめておりますので、後ほどご説明をいたします。</p> <p>それでは、お配りをいたしております「第四次福山市総合計画基本構想(素案)」をお願いいたします。</p> <p>1ページをお願いいたします。「総合計画策定の趣旨」でございしますが、合併や少子高齢化を初めとした社会経済情勢の変化、拡大から持続・成熟に向かう時代の基調、厳しい財政状況下での施策の選択と重点化の必要性、福山市のアイデンティティーの確立の必要性や市民との協働のまちづくりの必要性の視点などを明らかにいたしまして、行政にとどまらず、市民や団体と共有し、ともに目指すべきビジョンとして策定するという総合計画策定の趣旨をお示しいたしております。</p> <p>2ページをお願いいたします。「総合計画の構成と期間」でございします。総合計画につきましては、「基本構想」「基本計画」及び「実施計画」で構成することといたしております。「基本構想」は、総合計画の最も上位に位置しまして、本市の将来都市像やまちづくりの大綱を示すもので、本審議会では、この部分のご審議をお願いするものでございます。「基本計画」は、基本構想に定める将来都市像とまちづくりの大綱を実現するために必要な施策を部門ごとに体系的に示すものでございまして、前期と後期に分けて、前期基本計画は、2007年度(平成19年度)から2011年度(平成23年度)までの5年間の計画とすることといたしております。「実施計画」は、基本計画で定めた施策を具体的な事業として財源の裏づけを持って実施していくことを目標とするものでございます。計画期間は3カ年といたしまして、ローリングにより見直しを行うものでございます。</p> <p>3ページをお願いいたします。「これからの社会展望と福山市の現状」でございします。3ページから7ページにかけては「これからの社会展</p>

望」を、8ページから9ページでは「福山市の現状と特性」をお示しいたしております。

「これからの社会展望」につきましては、総合計画の策定に当たって留意すべき、本市を取り巻く社会経済情勢の変化を、先ほどの基礎調査にもございましたが、「グローバル社会」、「ソフト重視の経済社会」、4ページに「少子高齢化の進行と人口減少社会」、それから「循環型社会」、5ページに「高度情報化社会」、「雇用形態が多様化する社会」、6ページに「安心・安全が重視される社会」、「自治体の政策能力や改革が求められる社会」、7ページに「市民と行政が協働する社会」、この9つの視点で整理をいたしております。

3ページの①「グローバル社会」におきましては、グローバル化の進展に伴いまして、国際感覚を身につけた人材育成、世界経済の動向を踏まえた施策の推進、これを図りまして、産業競争力を高めていくことが求められていることをお示しいたしております。

②「ソフト重視の経済社会」におきましては、産業構造の変化に伴いまして、製造業等の振興を図りながら、それを支援するための事業展開を行うことのできる環境整備が求められていることをお示しいたしております。

4ページをお願いいたします。③「少子高齢化の進行と人口減少社会」におきましては、我が国の年少人口は老年人口を下回り、今後も総人口の減少が予想され、労働力の不足、税収不足、社会保障費の増加など、さまざまな影響を及ぼすこととなります。少子化問題や子育て支援対策として、子どもを生み育てやすい環境づくり、一人ひとりが健康で安心していきいきと生活ができ、生きがいのある生活を営む環境づくりが求められていることをお示しいたしております。

④「循環型社会」におきましては、循環型社会への実現に向けては、行政のみによる取り組みではなく、企業や市民との協働の体制を十分整備していくことが求められていることをお示しいたしております。

5ページの⑤「高度情報化社会」におきましては、まちづくりの手段として、情報通信技術を活用していくことは重要であります。ハイテク犯罪に対するセキュリティ体制確保を構築することが求められていることをお示しいたしております。

⑥「雇用形態が多様化する社会」におきましては、企業は、派遣社員、パートなどの非正規雇用の活用を進めるなど、雇用形態が大きく変化しておりまして、若年層では、定職を持たないフリーターやニートが増加しており、若者の就職支援を強化することが重要でございます。また、大量の団塊の世代が定年退職を迎えるため、ものづくりの技術の継承の方策や退職した人材を活用する方策が重要になることをお示しいたしております。

6ページをお願いいたします。⑦「安心・安全が重視される社会」におきましては、防犯体制の強化、自然災害などに対する防災体制の強化を図るとともに、地域体制の整備の強化を図ることが重要となります。多くの人が、社会保障制度・雇用環境・収入が不安定といった日常生活での悩みや不安を感じており、年々増加する傾向にございます。その不安解消に向けて、雇用の場の確保や保健・医療・福祉サービスの充実に努める必要があることをお示しいたしております。

⑧「自治体の政策能力や改革が求められる社会」におきましては、地方分権の進展に伴いまして、自治体の政策形成能力が問われる時期に来ていくというふうにいえます。地方財政はますます厳しくなっておりまして、今後、施策の選択と重点化を図るとともに、行財政改革をより積極的に推

進し、良質な行政サービスを提供していくことが求められていることをお示しいたしております。

7ページの⑨「市民と行政が協働する社会」におきましては、協働のまちづくりを推進していく気運が高まっている中、まちづくりの主役である市民が満足し、心豊かに生活するためには、多様な主体が地域を守り、育て、そして次の世代へ引き継いでいくことが重要でございます。身近な活動であります防災や福祉、環境、教育等の分野において協働することが求められます。事業を推進する者は、事業評価を的確に行うとともに、積極的な情報公開に努め、説明責任を果たすことが求められていることをお示しいたしております。

8ページ、9ページには、(2)「福山市の現状と特性」を記載いたしております。基礎調査による「広域的位置付け」「社会・経済特性」、それと市民アンケートの結果を基に、福山市の優位性や不足する部分、市民の意向を整理したものでございます。

優位性といたしましては、高速交通網の結節点、アジアに開かれた港湾、県境を越えた井笠圏との結びつき、オンリーワン・ナンバーワン企業や多種多様な製造業の集積、充実した就学前施設(幼稚園・保育所)でございます。1小学校区1公民館の整備(協働でございます)などがございまして、こういった協働によるまちづくりの環境が整備されているというふうに言えます。

一方、不利な部分といたしましては、社会増減が転出超過となっております。それから、単独世帯が増加している、商圏人口は減少、観光客は伸び悩み、事業所数・従業者数の減などがございます。

市民アンケートにおきまして、市民が今後の「まちづくりの考え方」として必要としたものは、1位が「安心・安全」、2位が「健康・福祉」、続いて「活力・にぎわい」、「子育て・教育」「自然・環境」でございました。

重点的に取り組むべきものとしたものは、1位が「高齢者福祉の充実」、2位が「学校教育」、続いて「ごみの減量化・リサイクルの推進」、「保健・医療の充実」、「雇用の場の確保」などとなっております。

次の10ページ、11ページにつきましては、まちづくりの基本的課題を記載いたしております。

社会展望、本市の特性、住民アンケート調査の結果を踏まえますと、大きく2点の課題に集約をされます。

1点目は【人口減少時代の中、拠点性と求心力を備えたまちづくり】

2点目は【健康で生き生きと安心して暮らせるまちづくり】

この2点をまちづくりの基本的課題といたしまして、次期総合計画におきましてはこれらの視点を踏まえたまちづくりを推進していく必要があるというふうに考えております。

次に、構想部分でございます。

12ページにつきましては、まちづくりの基本理念を記載いたしております。ここからが基本構想の主要な部分となるものでございます。

基本理念の「人間環境都市」につきましては、第1次から第3次までの総合計画で、いつの時代にも欠くことができない普遍の目標として受け継がれております。「市民一人一人の人権が尊重され、住みやすさ、働きやすさが保障される人間主体の都市 福山」、これは現在の時代においてもこの精神は通じるものでございます。市民にも定着しているということから、次期基本構想においても踏襲していく考えでございます。

13ページ、14ページでございますが、将来都市像について記載をいた

しております。社会展望、本市の特性、市民アンケート調査の結果を踏まえ導き出されました先ほどの2つの大きな視点でございます【人口減少時代の中、拠点性と求心力を備えたまちづくり】、【健康で生き生きと安心して暮らせるまちづくり】、これを、市民と行政の協働で実現していこう！というコンセプトで案をお示しいたしております。

【にぎわい】、これは「拠点性と求心力を備えたまちづくり」、これを意味しております。

【しあわせ】、これは市民のまちづくりの考え方や要望の強い「安心・安全」「健康・福祉」「子育て・教育」など「健康で生き生きと安心して暮らせるまちづくり」、これをイメージしたものでございます。

【あふれる】、これは「にぎわいにあふれる」、「しあわせにあふれる」、それから「あふれる躍動都市」と、いずれにもかかる言葉ということで整理をいたしております。

【躍動】、これは人口減少社会の中で、中四国地方の拠点都市として、市民とともに元気よく、いきいきと今後の福山の発展を目指そうとする決意を示したものでございます。

【ばらのまち】、これは、ばらは福山市のシンボルでございます。市民アンケートでの「福山市らしさ」の結果でも約6割の市民がばらを選んでおります。また、ばらは福山市の協働のまちづくりの原点である点、こういったことを考慮いたしているものでございます。「にぎわい しあわせ あふれる躍動都市」、これを市民との協働で実現しようとするものでございます。

続いて、15、16 ページでございます。ここにはまちづくりの基本方針を記載いたしております。今回の構想では、人口減少社会への突入など、かつて経験したことのない時代の到来が予測される中で、自立した持続的発展力のあるまちづくりを行う必要がございます。「市制100周年に向けた新たなまちづくりの指針」として、「チャレンジふくやま 新たな創造と飛躍」、これを合言葉、キャッチフレーズといたしまして、4つの方針を持って将来都市像「にぎわい しあわせ あふれる躍動都市 ばらのまち 福山」、これを実現しようとするものでございます。

この基本方針は、今回、初めて取り入れたものでございまして、17ページからの「まちづくりの基本目標と施策の大綱」に続く施策、あるいは事務事業、これを実施していくための、すべての施策に共通となる考え方、これを4つの方針で示したものでございます。

1つ目は「協働」のまちづくりを实践し、地域力を高めていく必要性の視点をお示しいたしております。

2つ目は、本格的な地方分権時代に対応した「自立」したまちづくりを進めていく必要性の視点でございます。とりわけ「都市内分権（支所等への分権、それから住民への分権）」、こういった都市内分権の推進、それと、中四国地方の拠点都市としての福山市の広域的な役割を果たす必要性をお示しいたしております。

3つ目は、学校・地域・職場など、あらゆる機会を通じ、また、子どもの時代からお年寄りまでの生涯教育を通して、まちづくりの原点でもある福山市の将来を担う「人づくり」を進めようとする視点をお示しいたしております。

4つ目は、積極的に「福山を全国に発信」とともに、地域の資源を掘り起こし、磨き、活用し、都市のブランド力を高めようとする視点をお示しいたしております。

	<p>次の17ページから18ページにつきましては、まちづくりの基本目標について記載をいたしております。</p> <p>将来都市像を実現するために、「協働のまちづくりの実践」、「自立したまちづくり」、「人づくり」、「福山の発信」、この4つの基本方針から、四角で囲んだところをごらんいただきたいと思います。</p> <p>第1は、市民の大切な生命や基本的人権に係る視点から、「だれもが安心して安全で快適に暮らせるまち」、第2は、市民だれもが、生涯、健康で幸せに暮らしていくことが求められる視点から「子どもが健やかに育ち、だれもが健康でいきいきと暮らせるまち」、第3は、まちづくりの原点である「人づくり」が求められる視点から、「多様に学び・文化をはぐくむまち」、第4は、まちの活力の源泉となる産業振興が求められる視点から、「産業の力みなぎる活力とにぎわいのあるまち」、第5は、以上の計画を推進していくために必要であるという視点から、「市民とともにつくる自立したまち」の5つの柱を「まちづくりの基本目標」に掲げてまちづくりを推進するものでございます。</p> <p>この5つの柱が相互に連携して「将来都市像」を実現しようとするものでございます。そのイメージを図で示したものが18ページの下の方となっております。</p> <p>次に、19ページから22ページにつきましては、5つの基本目標の下に、施策の基本的な枠組みとして「施策の大綱」を設けまして、その下に、基本計画において、より詳細な施策の体系や事業を編成いたしまして、これによって事業の展開を図るものでございます。19ページの下側に、例えば、【基本施策】の最初の「人間としての尊厳や自由を尊重する人権文化が根付いた地域社会実現」につきましては、基本計画の中では、この下に、人権や男女共同参画等の施策と事業が連なっていくという構成になるものでございます。</p> <p>23ページをごらんください。A3判で基本構想全体の体系（案）を記載いたしましたものでございます。</p> <p>この体系は、基本理念「人間環境都市」、これを念頭におきまして、目指すべき将来都市像「にぎわい しあわせ あふれる躍動都市 ばらのまち 福山」、これを達成するため、四つの基本方針を示し、「まちづくりの基本目標と施策の大綱」をあらわしたものでございます。</p> <p>以上で、基本構想案の概略の説明とさせていただきます。</p> <p>続きまして、別冊でございますが、「第四次福山市総合計画の策定に係るパブリックコメントの結果について」ご説明いたしたいと思います。</p> <p>4月1日から21日まででございますが、先ほどの基本構想の素案に対するパブリックコメント、これを実施いたしました。</p>
○井上会長	<p>ちょっと済みません。資料はどれですか。わかりますか。よろしゅうございますね。</p>
○事務局(藤井課長)	<p>それでは、続けさせていただきます。</p> <p>4月1日から21日まで基本構想の素案に対するパブリックコメントの募集を行いまして、その結果を集約したものでございます。</p> <p>12名と1団体から応募がございまして、54件の意見や提案をいただいたところでございます。</p> <p>項目別の意見数でございますが、計画全体についてのものが9件、序論部分にかかわるものが18件、構想部分が15件、具体的な施策についての</p>

意見といった、その他といたしまして12件の意見や提案がございました。意見の内容でございますが、資料の3ページから5ページにかけて、11項目に対しまして、市民の意見を反映させることといたしまして、素案を修正いたしましたところでございます。

先ほどの基本構想(素案)をお願いいたします。パブリックコメントを受けまして修正した箇所についてでございます。

主な修正箇所といたしまして、3ページ、①の「グローバル社会」の2段落目でございますが、「文化の異なる外国人」といたしていた部分を、「外国人をはじめ、文化の異なる人」に修正をいたしております。

4ページ、③の「少子高齢化の進行と人口減少社会」、これの4段落目でございます。これは全文を修正いたしております。「年齢や性別、障害の有無等にかかわらず、だれもが自己能力を發揮して、社会参加ができ、生きがいのある生活の環境づくりが求められるため」というふうに修正をいたしております。

次に7ページでございます。⑨の「市民と行政が協働する社会」の3段落目でございますが、「事業評価を的確に行なうとともに」の前に、「事業を推進するものは」を挿入いたしております。

15ページ、①でございますが、「協働のまちづくり」の2段落目でございます。「少子高齢社会や防災・防犯」といたしておりました部分を、「少子高齢社会や防災・防犯、環境、教育などや外国人など文化の異なる人への対応も地域で支え合うことが必要です」というふうに修正をいたしております。

16ページ、③でございますが、「人づくり」を進め、新たな文化や産業を創造するの2段落目でございます。「国際感覚」の後に「人権感覚」、これも追加をいたしております。

同じく16ページの④、「福山を積極的・継続的に発信し、都市ブランド力を高める、これの1段落目でございますが、「ばら」を始めとする福山市の魅力」といたしておりました部分を、「ばらのまちづくり“を始め、鞆の浦などの歴史的文化遺産や特色ある技術を持つ企業の集積といった福山市の魅力」というふうに修正をいたしております。

19ページ、①でございますが、だれもが安心して安全で快適に暮らせるまちの2つ目の○のところでございますが、「防災対策の充実や防犯活動の推進など」の前に、「危機管理意識の高揚を図るとともに」という文言を挿入いたしております。

それから、20ページの1つ目の○印の部分でございますが、「地域全体で子育てを見守り、子育てを楽しいと」としておりました部分を「地域社会全体で子育て家庭を支援し、子育てを楽しいと」に修正をいたしております。

それでは、先ほどの募集結果の資料の方にお戻りをください。5ページから8ページにかけての18項目、これにつきましては、意見に対する市の考え方を説明をいたしております。

9ページから12ページにかけては、今後具体的施策を展開していく上での参考意見、主には基本計画の方で検討してまいりたいと思えます。参考意見等として集約をいたしたところでございます。

以上でございます。

○井上会長

藤井さんの今説明いただいたのは、基本構想の全文ですね。全体ですね。全体の内容の素案になるわけですね。

○事務局(藤井課長)	そうです。
○井上会長	これ以外にはないですね。
○事務局(藤井課長)	はい。
○井上会長	<p>それでは、ただいま説明いただきましたこの素案に対して、私たちはあと3回、今日を入れて4回、協議いたしましてね、これでいいのかどうか、こういうふうに変更した方がいいのかどうか、そういう意見を諮問したいと思います。</p> <p>順次これからやっていくということで、本日は今お聞きしたことへの回答は大変だと思いますので、質問等を中心にお聞きしたいと思います。いかがでしょうかね。はい、どうぞ。伊藤さんですね。</p>
○伊藤委員	<p>はい、伊藤です。この基本構想素案の10ページ、11ページのずっと下の方にいろいろ書いてあるんですが、これを読むと人口減少時代の中ということを書いてありますよね、上に基本的課題、2つ。「人口減少時代の中、拠点性と求心力を備えたまちづくり」ということを書いてありますが、この下の文章を読んだり、それから先ほどの基礎調査などを見ると、人口減少時代というのは日本じゅうこういうことになってきますし、それからその資料によると福山市は46万が45万に13年間になるということで、むしろ人口減少時代の中よりも、「都市間競争の時代に拠点性と求心力を備えたまちづくり」というようにした方が、直すといえますか、そういうように私は1つ提案いたします。</p>
○井上会長	はい。とりあえず今日のところはお伺いしておいたらよろしいですね。今日皆さんで審議する時間がないのでね。
○伊藤委員	はい。
○井上会長	<p>伊藤さんのご意見にね。</p> <p>それから、ほかに。細かいところは言わずに質問をお願いしたいと思います。はい、どうぞ。</p>
○門田委員	<p>全体的にですね、さっきもスポーツの点がございましたが、青少年の健全育成としてのスポーツという項目がどうもないような気がいたしますね。青少年の健全育成はスポーツに限ったものですけど、その項があまりあがってないというような気がいたしますので、どこに加えていいかは今日見たばかりなのでわかりませんが、そういうふうな気がいたします。以上です。</p>
○井上会長	検討項目として残させていただきますね。これからの教育。ほかに。はい、どうぞ。
○安川委員	安川と申します。全体として現状をよく踏まえて、割と適切に書かれて

	<p>いると思うんですが、総括に書かれてると思うんですが、もう1つ、夢は一体何か。ここであまり夢のことを語ってはいけないのかもしれないですけど、どういう方向の都市に、例えば50年先にはどうなるかというようなことも少しは考えながら、夢を語るというようなこともあっていいのではないかというふうに思うんですが。感想として申しわけありませんが。一方で倉敷があり、他方で同時に尾道がありますね。そういうところと対比して、じゃ福山はどういう特徴を持った都市にしていくのかというのを、若干夢でもいいから何かまとめたらという気がしていますが。</p>
○井上会長	<p>はい。ご意見として伺っておきまして、本日は時間もありませんので、済みませんね。 ほかに、今日ぜひ言っておきたいという意見がございましたら。はい、</p>
○丸山委員	<p>観光協会の方の副会長として、私も読ませていただきますと、今安川先生もおっしゃいましたけれど、倉敷、尾道という、観光で非常に全国的にも有名な中にありまして、福山はちょっとその点、影が薄いんですけども、これを読ませていただきますと、本当に観光のことはほとんど書かれてないということを感じましたので、意見としてもうちょっと考えていただきたいということをお願いしておきます。</p>
○井上会長	<p>どうぞ、伊藤さん。</p>
○伊藤委員	<p>先ほどスポーツとか青少年健全育成ということをお話しされたんですが、福山市の教育委員会では2003年度から教育ビジョンというのをつくって、既に3年経過して、また教育ビジョン2というのを作成して、学校教育について着々と改革を進めております。それとの整合性ということで、人づくりというところについて入れてほしいと思います。 それと、もう1つ言いますと、前回の第3次福山市総合計画も私、教育のところを読ませていただきまして、これとの比較をしてみたんですが、まあ焼き直しというか、前のところをちょっと改善か改良してるということで、もう既に十何年前の計画がそのままちょっと修正されてるような感じを受けてるんで、実際は福山の学校教育、あるいは社会教育についても相当進展してるか改革されております。その内容がほとんど入ってないというところをちょっと入れてほしいと、こう思います。 以上です。</p>
○井上会長	<p>ほかにいかがでしょう。ぜひ今日、はい、どうぞ。</p>
○細木委員	<p>これは今日のあれでなくて、次回に教えてほしいんですけども、8ページにですね、細木です、保育所数、幼稚園数ともに、子育て応援センターを含め、就学前施設が充実しているなど、子育てをしやすい環境、これをうちの強みと書いてますけども、これはどこを基準にしてですかね。もう待機児童は保育所には市にはほとんど今ないんですね。むしろ今大事なことはソフトの面でないかと思うんですけどね。数じゃなくて。私ども、お母さん方にアンケートを取るんですけど、その中では例えば夜間保育だとか延長保育、そちらの充実のことを求めていることが多いので、これがよそのほかの、例えば同規模の市町村と比べてうちがそんなに子育てをしやすい環境にあるかどうかということをお願いしていただければと思います。</p>

○事務局(藤井課長)	それは何か持ってます、そのデータ。
○事務局(藤井課長)	お手元の基礎調査報告書の本編の 63 ページをお願いいたします。この図表 3 の 31 でございますが、福山市と他の市や県と比較しています。そのあたり、福山市は保育所が 124 カ所、人口 1 万人当たりが 2.7、在所児童が 1 万 272、そして入所待機児童数はゼロというふうに、どこをとりましても全国的にも保育所及び保育サービスが充実しているということは言えるんじゃないかと思えます。
○細木委員	それは数だけの問題でね。
○事務局(藤井課長)	はい、数。それから、ないしは特別保育とかいろんな保育サービスもやっておりますから、その辺も他市と比べたら充実してるんじゃないかと。サービスの面で。
○細木委員	それはよその同じようなところと比べてですか。
○事務局(藤井課長)	そうです。
○細木委員	そうですか。私は逆の話を聞いてるんですけど、ほかとの。たまたま私、医師会の方で子育ての悩みを聞いとるんですけどね。例えば、どこから移ってきたんだけど、保育料が高いとか、それから時間外が少ないとか、夜間やってくれてないとか、そういうものがよく出るんですよ。だから、そういうのが、こんなときに実際にさっき調べたように、広島、岡山、倉敷ですか、ここの近くの、ここと比べて保育料だとか、時間のさっき言った延長保育をどのぐらいしてるとか、夜間保育をどのぐらいしてるとか。それから、例えば公的な機関での病児保育をどのぐらいしてるとか、そういうデータがありますか。
○事務局(藤井課長)	わかりました。準備します、次回までに。
○細木委員	はい。
○大元委員	<p>済みません。載ってないことを言えと言われると非常にお話が言いにくくなるんですが、農地というのは多面的機能を非常に持つんですよ。地産地消を図るため農地というのは非常に必要なわけですよ。それで全部都市化すると、心の安らぎというのは農地だけです。地産地消、あるいは福山のブランドづくりに励んでおります。それで、遊休農地の調査等を今やってるわけですが、その観点からいきますと、まあ農業は農政課に任しとるけん総合計画となると何も無いぞと言われるとちょっと寂しい気がするんですが、ひとつその点も考えてほしいなあと。</p> <p>特に団塊世代の人が何とかやらんと、今大手メーカーのオンリーワンやらナンバーワンさんが来て輸入野菜に押しまかれると。本当の福山ブランドの農産物は押しやられてしまうような気がするんですね。そこら辺をひとつ、農業というのも非常に多面的機能を持った農地でございますので、ひとつ応援のほどよろしくお願いいたします。</p>

<p>○井上会長</p>	<p>それでは、時間、どこまでもというわけにはいきませんので、今日のところはこの辺でと思うんですが、いかがですか。あと、次回から具体的にどうか、いろいろ議論していきたいと思います。それでは、この辺で今日のところは切らせていただきますでしょうか。今日は終わりで、今日意見を言う時間がなかった委員さんもいっぱいいらっしゃいます。次回以降にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、よろしゅうございますね。それでは、今後のスケジュール等、事務局の方から説明していただけますか。</p>
<p>○事務局(森島部長)</p>	<p>失礼いたします。先ほど冒頭のところで企画課長からもご説明申し上げましたが、今後数回程度の開催をさせていただきますして、8月中には答申として取りまとめをしていただきたいというふうに考えておるところでございます。次回から本格的なご議論をお願いするわけでございますが、委員の皆様には大変ご多用のこととは存じますけれども、どうぞご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>○井上会長</p>	<p>それでは、この長期総合計画というのは私の理解では、市のいろんな分野の計画の憲法みたいなものでね。教育から産業から文化から観光から福祉から、全般にわたる非常に重要な、一番重要な計画だと思います。その中で、私たちが市長から諮問を受けているのは、その一番コアと申しますか、基本構想という一番大切な部分で、私たちよく勉強して、いい意見を答申したいと思います。どうぞよろしくお願いします。</p> <p>次回は大体7月20日ごろと考えております。詳しくはまた調整させていただいて、ご連絡させていただきます。</p> <p>それでは、本日の審議会を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。</p> <p>(了)</p>

■出席者一覧

	所属団体等	名前
委員	福山市連合民生・児童委員協議会 副会長	あいかわ ひろみ 相川 博美
委員	福山市教育委員会 委員長	いとう やすあき 伊藤 泰昭
委員	福山市女性連絡協議会 会長	いのうえ こ 井上 タカ子
会長	福山大学 工学部教授	いのうえ のりゆき 井上 矩之
委員	福山商工会議所 副会頭	うらべ まこと 占部 誠
委員	福山市農業委員会 会長	おおもと いくお 大元 活男
委員	福山市PTA連合会 事務局次長	くらた いくこ 蔵田 郁子
委員	福山文化連盟 副会長	ときわ はつえ 常盤 初江
委員	公募委員	ながひさ ひろこ 永久 洋子
副会長	福山平成大学 福祉健康学部教授	ふじい さとる 藤井 悟
委員	連合広島福山地域協議会 事務局長	ふじもと かずし 藤本 和士
委員	(社)福山市医師会 会長	ほそぎ のぶお 細木 宣男
委員	広島経済同友会福山支部 副支部長	まつもと しげたろう 松本 茂太郎
委員	(社)福山市観光協会 副会長	まるやま まりこ 丸山 万里子
委員	公募委員	みかみ きくみ 三上 貴久美
委員	福山市自治会連合会 会長	もんでん つとむ 門田 勤
委員	福山市立女子短期大学 学長	やすかわ えつこ 安川 悦子
委員	(財)福山市体育協会 常任理事	やまぐち しょうじ 山口 正司

(注) 五十音順